



報道発表資料

2000年6月29日
インフォテリア株式会社

インフォテリア、XML Authority 日本語版を発表
欧米で最大の実績をもつ XML 設計ツール、いよいよ日本語版発売

インフォテリア株式会社(本社:東京都品川区、代表取締役社長:平野洋一郎)は、2000年7月28日より XML スキーマ*1 設計ツール「XML Authority」(エクスエムエルオーソリティ)日本語版の出荷を開始することを発表しました。XML Authority は米 Extensibility(エクステンシビリティ)社が開発したソフトウェアで、欧米では企業間のビジネスルール設計ツールとして数多くの大手企業の B to B*2 システム構築に使用されています。また、米 eXcelon 社の各種製品群や独 Software AG 社の Tamino にバンドルされるなど、市場で絶大な支持を得ています。

XML Authority は、XML のスキーマ設計や管理が可能なソフトウェアで、既に英語圏を中心に全世界で 4,000 社以上の会社がビジネスルール設計のために使用しています。例えば、米 J.P.Morgan 社が FpML*3 の設計に使用したり、米 General Motors 社が対外調達システムの設計に使用しています。その主な機能は以下のようなものです。

- 既存のアプリケーションのデータ構造を XML のスキーマに変換すること
- グラフィカルで使いやすい設計環境
- 全ての主な XML のスキーマ言語に対応

今後のインターネットベースの企業間システムでは、XML によるデータ交換が主流となりますが、XML Authority ではその際に使用するスキーマ設計を行うことが可能です。スキーマ定義言語として、DTD だけでなく、W3C の XML Schema、米 Microsoft 社の XDR、米 CommerceOne 社の SOX など数多くのスキーマ定義言語をサポートしています。さらに、日本国内で提案され JIS テクニカルレポートとしての発行が予定されている RELAX もサポートします。

XML Authority 日本語版は、1 ライセンスあたり 15,000 円で、大量導入向けに、5, 10, 20, 50 の各ライセンスパックが提供されます。

米 Extensibility 社の Reid Conrad 社長兼 CEO は、「XML のスキーマは、今やビジネス取引におけるルールとして多用されるようになってきています。我々はインフォテリアとの提携に大変興奮しており、またこれによって、日本での XML による企業間取引の実装が加速されることでしょう。」と述べました。

XML Authority の発売にあたり、シーアイエス株式会社では、XML Authority を使用した XML スキーマ設計のトレーニングコースを 8 月下旬より開設の予定です。シーアイエス株式会社ラーニングカンパニーの大塚エグゼクティブ・ディレクターは、「シーアイエスでは従来よりインフォテリア製品を活用した XML 技術のトレーニングコースを開催して好評を得ております。今回発表された XML Authority は、XML を真の B to B ソリューションへと導く橋頭堡たる製品です。シーアイエスでは XML Authority を活用したトレーニングコースを通じ、今後とも企業の電子商取引への参入をバックアップしていきます。」と抱負を述べられました。

米 Extensibility 社について

米 Extensibility 社は、米国ノースカロライナ州チャペルヒル市に本社を置き、その製品とサービスでは、インターネットベースの企業間システムの基盤である XML スキーマをデザインし、構築し、管理し、そして処理するための能力を提供しています。同社は、米 Microsoft 社、米 Oracle 社、米 Sun Microsystems 社、米 CommerceOne 社、独 Software AG 社、米 Quark 社、米 PricewaterhouseCoopers 社といった各分野でのリーディングカンパニーとの戦略的パートナーシップを築いています。

<http://www.extensibility.com/>

インフォテリア株式会社について

インフォテリア株式会社は、日本国内唯一の XML 専門ソフトウェア会社です。インフォテリアでは、先進の XML テクノロジーをベースに、XML の普及を促進するコンポーネント製品や、企業間電子商取引(B to B-EC)および企業間アプリケーション統合を XML ベースで行うためのソフトウェアを提供しています。

<http://www.infoteria.com/>

#

<お問い合わせ先>

info@infoteria.co.jp

(電子メール)

<http://www.infoteria.com/>

(ウェブサイト)

<製品概要>

■XML Authority (エックスエムエル オーソリティ)

正式名称: XML Authority version 1.2

概要:

- XML スキーマの変換と移行
- 最新のスキーマ定義言語をサポート
- 直観的な GUI 環境による XML スキーマ設計
- XML スキーマの包括的な管理
- 名前空間のサポート

価格:

- 1 ライセンス : 15,000 円
- 5 ライセンスパック : 73,500 円
- 10 ライセンスパック : 142,500 円
- 20 ライセンスパック : 270,000 円
- 50 ライセンスパック : 600,000 円

稼働環境: Microsoft Windows 95/98, Windows NT 4.0, Windows 2000

出荷日: 2000年7月28日

<用語説明／注釈>

*1 XMLスキーマ (エックス エム エル スキーマ)	XML文書の構造と内容モデルを記述するのに用いるメタ情報のこと。この定義を用いて文書インスタンスを検証することができる。 ※例：DTD, XSDL, XDR, SOX など
*2 BtoB (ビートゥービー)	Business To Businessの略。B2Bとも書く。企業間取引のことで、最近ではインターネットベースの企業間取引を特に指してB2Bと呼ぶことが多い。インターネットベースの不特定他企業を対象とするシステムでは、システムやソフトウェアを統一できないため、XMLをベースとしたデータ交換、システム連携が主流となる。
*3 FpML (エフピーエムエル)	Financial Products Markup Languageの略。金融派生商品の情報共有やインターネットを介した電子取引のためのプロトコルで、米J.P.Morgan社と米PricewaterhouseCoopers社が提案したもの。

以上